

環境振動運営委員会 第13回低周波音(振動)WG 議事録(案)

A. 日時 2008年7月7日 月曜日 18:00~20:00

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者 石川主査、他13名

D. 提出資料

No.13-0 前回議事録案

No.13-1 課題取り組み進捗

No.13-2 低周波音(振動)に関わる AIJ アカデミックスタンダード [評価]部分の検討項目案

No.13-3 転倒防止に関するアイデア対策の効果の検証

No.13-4 家具の転倒に影響を及ぼす要因の分析

No.13-5 騒音・低周波音被害をめぐる受忍限度・因果関係に関する一考察

No.13-6 騒音・低周波音被害をめぐる受忍限度・因果関係に関する一考察まとめ

No.13-7 検討項目メモ

No.13-8 音環境 Q&A 100選 低周波音・超低周波音

No.13-9 低周波音による建具のがたつき始める音圧レベルについて

【06/7/4 議事録参照】

- ・[加振源];設備一般(室外機を含む)、ランドリー、手持ちのデータ
- ・[評価];今までの知見、精度の問題、評価自体の問題
- ・[室内での実測事例];どういうデータがあるのか。
- ・[伝搬系];低周波音の周波数範囲の定義、当面 200Hz くらいまで考える。

E. 議事内容

1. 議事録確認(資料 13-0)

2. 議論

(1)主査よりコメント

- ーアカデミックスタンダードではなく、設計(事例)集・設置マニュアルの方向で執筆を進める
- ー目次(仮)における「5.委員会提案」において AIJ としてのオリジナリティーを盛り込む
- ー推奨値・参照値等の提示を行うか要議論
- ー設置マニュアル→具体的な設計に役立つことを意図すること
- ー加振源において「エコキュート」「ヒートポンプ」も加える

(2)資料 No.13-1 について

- ー過去のデータの整理を行っている

(3)資料 No.13-2 について

- ー低周波音に対する聴覚特性の知見をまとめて提示する予定

(4)資料 No.13-3・4 について

- ー家具等の転倒・挙動に関する報告

(5)資料 No.13-5・6 について

- ー公害環境紛争のうち、低周波音をめぐる被害に関し損害賠償請求等のあり方に考察を加えたもの
- ー低周波音に関しては日本国内において、規制基準・環境基準のいずれも定められていない

(6)資料 No.13-7・8・9 について

- ーこれまでの議論内容の確認(用語の定義・対象とする発生源・計測対象・予測・評価・推奨値)
- ー建築分野への特化に留意する

### 3. 次回以降の課題

- －「3.対象とする問題」に関して執筆代表者を中心にさらに肉付けしたデータを示す
- －4章までを取りまとめ、5章にて建築方面へ特化させ、AIJとしてのオリジナリティーを
- －次回にて5章(委員会提案)の詳細を検討

### 4. 今後の予定

- －2009年3月末にて本WG終了
- －2009年度より刊行委員会として再編
- －2008年11月までに今後の方向性の詳細を決定

### 5. 次回開催予定

次回委員会は、2008年10月3日(金)、18:00～本会会議室で開催予定